

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計動向 関連 (沖縄)	良くなる やや良くなる	-	-	
		百貨店（店舗企画）	・入域観光客の好調から、県経済へのカンフル剤となり、街全体に活気が感じられる。免税売上も、鈍化はしても、まだまだ伸びしろは大きいとみている。	
		コンビニ（経営者）	・スポーツ大会やイベント等があり、客単価及び来客数の増加が予想される。	
		ゴルフ場（経営者）	・客単価をそんなに下げなくても、ここ3か月位人数は増えている。9～12月の今後について、従来よりは利用人数は増加するものとみている。	
	変わらない	住宅販売会社（営業担当）	・土地価格高騰前に土地購入含めての建築相談が、今後増えると思われている。	
		一般小売店〔菓子〕	・特に良くなるソースが無い。	
		スーパー（販売企画）	・1品単価のアップはまだ続くと考えられるが、昨年あったプレミアム付商品券の影響がしばらく続くと考えられる。またバイヤーからの話では青果物などの価格高騰もあり売りにくいとのこともあり、買上点数や来客数のマイナスがあると思われ、やや悪くなる状況が出てくるとみている。	
		コンビニ（エリア担当）	・観光客、インバウンド、ブランド転換等の要因はあるが、今後も購買意欲は衰えず続くと思われる。地域によっては供給不足解消のために、物流改善が課題となる。	
		コンビニ（代表者）	・県経済はインバウンドによる爆買いに多少の陰りは見えるものの、安定して推移すると考える。	
		衣料品専門店（経営者）	・今月は、先月に引き続きセール時期であるが、秋物の入替え時期でもある。今月はセールの売上で、商品の希少化がそれほど進んでいる状況ではない。次の季節の商品もそれほど動いているわけでもない。これから来月の商品の動きに期待している。	
		衣料品専門店（経営者）	・当店には少なからず顧客があり、周囲もそう変わらないとみている。ただ季節の変わり目は一時的にどこでもあるかと考えるが、甲子園やオリンピックなど夏のイベントが終了し、少し落ち込むのではないかと。	
		乗用車販売店（経理担当）	・新商品の受注状況、法人の受注状況からみても、県内経済はしばらく良い状況で続きそうである。	
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・特に大きく変化する要因が見当たらない。	
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・現段階の予約状況から推測される今後2～3か月後の客室稼働率は、今月同様に前年同月実績を上回る見込みである。	
		旅行代理店（マネージャー）	・景気の良い話も世間にはあるが、中小企業では特に変わらないとみている。	
		通信会社（サービス担当）	・格安スマホの台頭、携帯会社間の新規切替キャッシュバック競争が終了し、携帯が市場に出回り新規契約はかなり厳しくなっており、新サービスで取り戻そうとしている。	
		住宅販売会社（代表取締役）	・他社設計での競合見積の相談も多いが、現場代理人の不足感があり見積案件も選定しなくてはならない現状である。	
		やや悪くなる	その他専門店〔楽器〕（経営者）	・売上減少と経費の増加、価格競争など厳しい状況が続く。
			観光名所（職員）	・新聞で募集する国内団体旅行の設定が少なくなってきた。九州の復興ツアーに流れている。
商店街（代表者）	・大型店は、バーゲン等で値段を調整して客を集めているが、商店街の零細企業にとっては、毎月売上が大変落ちていて危機感を持っている。観光客も見学はするが、なかなか物品の購入には至らなくて、このままでは商店街はどうなるかわからない、と皆が口々に言っている。			
悪くなる	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・労働基準監督署の影響を受けない個人店か、資本力がありシステムで動かせる本土のチェーン店が増えてきており、地元の中堅の飲食店は非常に厳しい環境にある。入客以上に、技術者等労働力不足が深刻である。		
	-	-		
企業動向 関連 (沖縄)	良くなる やや良くなる	-	-	
		輸送業（代表者）	・公共工事の端境期の中、宮古島や石垣でリゾート関連の民間工事が本格化しつつある。	
	変わらない	食料品製造業（総務）	・売上が横ばいで、増加に転ずるような勢いも感じられない。	
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・特に変動は無い。	
		建設業（経営者）	・相談の来場組数が減少している。	
輸送業（営業）	・10月以降の最低賃金上昇により収益悪化となる。荷主への人件費上昇分の転嫁も来期以降となる見込みだが、確実に獲得できるものでもない。			

	広告代理店（営業担当）	・ 県内企業の販促投資はほとんど変わっていないように感じる。全体としては、一括交付金による補助事業や県外及び海外企業の沖縄進出に伴う予算投下により増加傾向にあるように思われるが、先行きを見通せない感は否めない。
	会計事務所（所長）	・ 沖縄の中心である観光業界が頭打ちになっていると思われる、他業種への波及効果も薄れていると感じる。
	やや悪くなる	-
	悪くなる	-
雇用 関連 (沖縄)	良くなる	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（営業担当） ・ 今後2か月間では求人数が増える。
		求人情報誌製作会社（編集室） ・ 9月スタートの企業も多く、秋から冬に備えて人材確保に奔走する企業が増加するものと思われる。
	変わらない	人材派遣会社（経営者） ・ 依頼は増えているが、新規の動きがあまり見られない。企業の活力感に少し偏りがあり、派遣事業も新規依頼の増加がないと、契約終了とともに数字は減少していくと感じる。
		学校 [大学]（就職担当） ・ 大学夏季休暇明けの10月から県内中小企業の求人を期待しているが、特段、積極的な印象は今のところ感じられない。
	やや悪くなる	人材派遣会社（総務担当） ・ 新規求人に対し求職者不足のため、マッチングができない状況が続いている。
		学校 [専門学校]（就職担当） ・ 各業界、人材不足を訴えており、この状態が続くと企業の状況が悪化するような懸念がある。
	悪くなる	-